

この学校にわたしたち

2022. 10. 21

N038

九里香～人と人とのつながり



少し前のことになりますが、1年生の教室の前を休み時間に通りかかると「校長先生、これあげる」といって手渡してくれたのはキンモクセイ。「キンモクセイやで」といって教えてくれました。「よく知っているね」と言ったあと、お礼を伝えました。

キンモクセイは中国では九里（約4km 中国では1里は400～500m）離れたところまで香りがするところから“九里香”とも言うそうです。

す。この時期になるとあちらこちらでキンモクセイの甘い香りを感じることが多くなりますが、日本のキンモクセイは種ができないと言われていました。キンモクセイは雌雄異株、すなわち雄株と雌株が分かれているため、雌雄が近くにないと種ができないのです。江戸時代に中国から渡来したといわれていますが、すべて雄株だそうです。それが全国に広がっていった理由は挿し木によって人工的に増やしていったからそうです。植物生理学の田中 修さんは、キンモクセイは「人と人との出会いの中で広がっていった代表的な植物」と述べています。（『植物のいのち』（中公新書））

近年、世界は自国優先主義の風潮が強まり、個人レベルにおいても自分たちがよければ…という空気が蔓延してきていないでしょうか。“分断”がどんどんすすみ、世間ではコロナ禍も影響して、人と人の関係さえも“断ち切る”傾向にあるように思えてなりません。この4月より私自身、保護者の皆様をはじめ、学校運営協議会、自治会の各区長、青少年を守る会、八対野教育文化会館主事様…など多くの方々とお会いしながら学校運営にご協力をいただいております。また、子どもたちの教育につきましては、学習指導要領の中で「他者と協働しながら学習していくこと」を大切にするように記載されています。こういう現代の時代であるからこそ、自分や他人のよさを認め、友だちや地域の方も含め、あらゆる人と人とのつながりを大切にしながら、学校運営をすすめてまいりたいと思いますので、今後ともご協力を宜しくお願いいたします。ハツ山小学校・ハツ山地域に人間キンモクセイの甘い香りが広がっていくことを願っています。